|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 2023第1,2,3 RUTC答え25(34)(社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | | | |
| 2023年8月26日週間祈りカード | | | | | |
| △産業宣教  絶対契約を選択したエッサイ(Ⅰサム17:18) | △レムナント伝道学  契約を成し遂げたダビデ(詩23:6) | | △核心/Remnant Day  ９月学院福音化 | | △散らされた弟子たち  神様の預言と成就(イザ40:6-10) |
| □序論\_ 300% -絶対契約(専門性、現場性、未来性)  専門性、現場性、未来性300%準備することが絶対契約だ。エジプトと戦って、ダビデがペリシテと戦うとき、バビロンにも絶対契約を握って行った。伝道、やぐら、学業もそのようにすべき  1.CVDIP正確な契約の中で、わざわい地帯を見たビジョン、24・25・永遠というドリーム、神様の創造の方法でするイメージ、確実な御座から与えられる作品。それゆえ祈ること  2.プラットフォーム(編集)、見張り台(設計)、アンテナ(デザイン) - (やぐら)  人が来るしかないプラットフォーム、人々が光を見て来ることができる見張り人、霊的に神様と疎通できるアンテナを立てたのがやぐらだ。特にレムナントは編集するのに、おもに本をたくさん読むべき。すると、神様の計画が見えて、みことばで答えが出てくる設計、現場に合うように適用させるデザインができる。いのちをかける価値を見つけ出す  3.定刻時間を作って味わうサミットタイムを持てば、24・25・永遠の答えが来る。  □本論\_エッサイ(三つのことを見つける)  1.過去  1)創37:1-11ヨセフが絶対契約を言い、ヤコブがそれを心にとどめていた。神様の世界福音化で絶対契約を握ったら成就  2)出3:1-18福音、宣教、文化三つを逃して奴隷なった  3)士21:25神様の絶対契約でない、自分の目に良いと見えること  2.今日  1)Iサム16:1-13大祭司がダビデに王になることを言って油を注いだ  2)Iサム16:23王宮で賛美したが、サウル王にいた悪霊が追い出された  3)Iサム17:1-47小さいお使いのように見えるが絶対契約が入っていた  △イスラエルが無能、偶像文化、悪霊文化に捕えられていた。今、宗教と３団体がこの三つで完全に掌握  3.未来  1)ダビデがイスラエル王の名、主の御名でゴリヤテに立ち向かった。  2)Iサム17:18エッサイがお使いに送った  3)Iサム17:29理由があると話したダビデ。絶対契約を握った  △王になる人なのに、危険地帯に送った。そこに理由がある  □結論\_準備  1.ダビデのように1千のやぐらを建てて、完全な神殿準備  2.生涯準備ダビデの生涯の祈りだったために働きが起こるしかない  3.金土日時代理由-神殿で逃した三つの庭を回復しなければならないため | 詩23:6はダビデの告白だ。  □本論  1.必ず参考にすべきダビデの生涯  1)詩78:70-72サミットタイムを持って羊を飼っていたダビデを、神様が国を育てる者として準備させられた。サミットになる前に霊的サミットからなるべき。  2)Iサム17:1-47青少年時期あらかじめ準備していたダビデがゴリヤテに会った。レムナントの時期は答えを受ける時ではなくて準備する時だ。  3)詩23:1-6青年の時期に、想像できない苦しみが来始めたがダビデには最も重要な時刻表だった  4)I歴29:10王の時期には生涯の祈りが入った神殿を準備した。神様が最も重要な共同体として教会を与えられた。これを分かれば教会で何をしなければならないのか答えが出てくる。  5)Ⅱサム16:7-14老年の時期アブサロムの反逆を通してダビデは味方と敵を確認して整理した。  2.業績(やぐら)三つ  1)ペリシテに勝って  2)雅4:1-5 1千のやぐらを建てて  3)I歴29:10-14神殿準備をした。  △こういうものが、すべてやぐらだ。レムナントはやぐらを残しなさい。  3.ダビデが味わった永遠のこと  1)霊力と知力  2)「主の家にいつまでも住まいます」  3)詩103:20-22(神様のみこころを成し遂げる軍勢、神様のみことばを成し遂げる御使い)、神様の臨在  □結論\_あらかじめ絵を先に引っ張りなさい。  1.みことば　　2.祈り　　3.実際  △みことばと祈りを実際に先に引っ張りなさい。勉強もみことばと祈りの力を持ってしなさい。  △考えと心に入れば必ず脳に、根をおろせばたましいの中に、体質になれば御座に刻印される。 | | □序論\_祈りの中ですること  1.刻印  1) Trinity三位一体の神様が私たちとともにおられるということを祈りで味わうことができるべき(マタ28章、創1:27、ピリ2:6、ヨハ10:30)  2) Throne御座の祝福が刻印されるように祈りで味わうべき  3) 3 Ages ３時代の契約を握りなさい。天と地の権威が与えられている。  4) Universe時代が来る。それゆえ、金土日時代を開いて本格的に味わうべき  5) 5 Authorities上から与えられる５つの力  6)契約の旅程であるCVDIPをあらかじめ作るべき  7) 3 Courtyardsイエスが最も願われる三つの庭でこそ世界福音化することができる。  2.根　刻印されてこそ根を下ろす。根をおろしてこそやぐらとなる。  1)プラットフォームがあれば全世界が来る。  2)見張り台に来ていのちを得る。  3)アンテナ　この祝福をその通りに疎通  3.体質になったとき、やぐらを守る見張り人になる  1)家庭、家系に派遣された者として、レムナントとして行きなさい。ここで人生編集、設計、デザインするすべての答えが出てくる。私たちの家庭、家系を無視することはできない。そこで確実なことが出てくる。  2)学校にやぐらを作りなさい　3)現場に未来を持って行きなさい  □本論\_ピリピ人への手紙- 「苦しみ」  1課　苦しみを受ける信徒の確信(ピリ1:9-10)  △苦しみ、危機のように見えるが、そうではない。「最初の日から今日まで福音を伝えることに携わて来たこと、キリスト・イエスの日が来るまでにそれを完成させてくださると、私は確信しています」(ピリ1:5-6)  △私たちができごとに会ったとき、苦しみを受けるとき、大切なことを見分けなさい。  2課　苦しみを受ける者の姿勢(ピリ2:1-6)  1)苦しみ-キリスト  2)その方は神様の御姿。人として来られて苦しみ  3)苦しみにあったキリストは王の王、主の主として立たれた  3課　苦しみに会う伝道弟子の背景(ピリ3:1-21)  1)上から与えられる報い　2)天国国籍  3)万物を従わせる御名、これが祈りの鍵  △キリスト。これが背景だ。それゆえ、キリストの手で捕えられた、それを得るために行くと言った。  4課　苦しみに会う伝道弟子の現住所(ピリ4:13)  △「中で」(in,En) - 「私を強くしてくださる方によって」が私たちの現住所で神の国だ(使27:24-25)  □結論  1.問題-答え　2.葛藤-更新　3.危機-機会 | | □本論  1.預言の中の預言、世界福音化  1)創12:3「あなたによって、地のすべての部族が救いを得ること」、22:18「地のすべての国々があなたの子孫によって生かされる」  2)マタ28:16- 「あらゆる国の人々に」、マコ16:15-20「すべての造られた者」、使1:8「地の果て」  3)エペ3:14-21「天と地にあるすべての家族に与えられた名だと」  みことば・祈りで世界を見通すために十分に可能だ。  2.神様がどのように成就させられたのか  1)奴隷　2)捕虜  3)属国　4)流浪の民　5)戦争  皆さんがどれだけ重要な人かというと、皆さんの次世代をこのように送らずに、とても重要な契約を握った人々だ。  時代にとても遅れると強大国に送り出すこと。そこに文化と、237がある。  3.散らされた弟子　解放された者として呼ばれた-解放させる弟子であるためだ。  1)残りの者として見えるが  -残す者  2)散らされた者として見えるが-巡礼者(見張り人)  3)旅人（寄留者）として見えるが-征服者  □結論\_ 100%専門性、現場性、未来性がある「伝道やぐら」(300%)を作りなさい。 |
| 2023第1,2,3 RUTC答え25(35)(社)世界福音化伝道協会　www.weea.kr | | | | | |
| 2023年8月27日　週間祈りカード | | | | | |
| △区域メッセージ（第35週）  サミットと25の答え(ピリ1:9-10) | | △聖日1部礼拝  神様の恵みが必要な人(エペ2:8-22) | | △聖日2部礼拝/237宣教委員会献身礼拝  すべての家族に与えられた御名(エペ3:14-21) | |
| 実際に精神的に苦しめられている教会の信徒と人がとても多い。精神的な苦しみを治そうとすれば、事実上不可能だということを分かってこそ治すことができる。刻印されたことを変えれば良いのに、変える時間がない。ずっと違うことを心配、悩むためだ。  □序論\_霊的サミット  サミットは最高の場に上がったということだ。ところで、霊的サミットが先にならなければサミットなった後に難しい。少しだけ正しく祈ればこの答えが来る。礼拝するとき、本当に礼拝だけささげれば霊的サミットになる。  環境-現場　そうしてこそ環境を生かして、現場を生かす。  □本論  1.私の刻印、根、体質を変えるのは霊的サミットしかない。  1)霊的サミットになる刻印は礼拝で変えるのだ。それゆえ、続けて幕屋、会見の天幕、天幕が聖書に出てくる。  2)礼拝で恵みを受けるだけ、個人集中することができる。このとき根をおろすのだ。  3)現場で常時祈りをするようになれば、完全に体質になるのだ。  2.三つの祝福  1)祈っただけ福音が単なる福音ではなくて福音化になるのだ。キリストの力が臨み始める。  2)福音を味わっていれば、御座が私のことになる御座化の祝福がくる。  3)じっとしているのにサミットの祝福がくる。これがサミット化だ。  △モーセの祈りのように、モーセが死んだ後にその答えが次世代に現れると告白した。  3.サミット運動  1)それゆえ、私たちは霊的サミットの座にいることが重要だ。  2)私たちは神様の答えを受けなければならない人なので霊的サミットの時刻表の中にいるのだ。  3)答えを受けるのであるから霊的サミットの姿勢を備えるのだ。  △いくら良い人でも、神様のことではなく、違うもので刻印されているが、それを変えることが最高の働きだ。  □結論  1.サミット運動をすれば出てくる結論は目に見えないように三位一体の神様の働きが私たちのたましいの中に起こる。  2.御座の力でなければ癒やすことはできない。  3.私たちは力がないのに時代を変える答えが来る。 | | ※礼拝しなければならない絶対理由を見つけなさい。  ※青年はみことば、三つの庭、未来重職者準備の証人になるべき  □序論\_霊的に、精神的に苦められている人  1.絶対に治らないということを知って、間違って刻印されていることを変えてあげなさい。  2.根本問題  1)問題の始まり-創3・6・11章  (1)アダム、エバの中に神様を信じるなと植えたエデンの園事件(創3章)  (2)ネフィリム時代になったノア洪水時代(創6章)  (3)人の力と世論ならばできるというバベルの塔運動(創11章)  2)今でも続いている創3・6・11章の問題-偶像、宗教、３団体が瞑想運動、文化掌握  3)エペ6:12サタンとの戦い-支配、力、暗闇の世界の支配者、天にいる悪霊  3.解決される唯一の道  1)その恵みによって信仰によって救われたので(8節)  (1)救いの原因-恵みによって(私たちの力で絶対することができないから)  (2)救いの手段と方法-信仰(神様のプレゼント)  2)キリストの外にいた異邦人であったのに、キリストの血によって和解(11-18節)  3)聖霊によって神の御住まい(22節)  □本論\_エペソ人への手紙の特徴  1.教会で絶対祝福を見つけ出しなさい  1)三位一体の神様の力でともに　2)御座の力であなたとともに  3)地の果てまであなたを証人として  ※信仰は、望んでいることを保証し、目に見えないものを確信させるものです(ヘブ11:1-3)  ※恵みによって信仰によって救われる(8節)-このときにだけ、サタンの刻印が崩れる。その時刻表を味わって伝えなければならない。この祝福を皆さんの家庭にやぐらとして建ててしまいなさい。  2.異邦人のための絶対やぐらを作って刻印されたことを変えなさい。  1)多民族のやぐらを変えなさい。  (1)異邦人、キリストの外にある希望がない者(11-12節)  (2)キリストが隔ての壁を打ち壊してあなたがたを救い(14節)  (3)神様が臨む御住まいに(22節)  2)私の237、三つの庭、私の地の果てを握りなさい。  3)１人が一つの国の祝福  3.「御霊によって神の御住まいとなる、キリストの中でともに築き上げられ」 -みなさんを絶対見張り人として呼ばれた。  1)私の中に　2)家庭に　3)職業にキリストのやぐらを建てなさい。  □結論\_祈りと信仰でこの奥義を味わうことができる。  1.脳が私のからだ全体と考え、すべてを動かす。(祈りが重要)  2.たましいの中に神様の力が臨めば、私の生活が変化  3.御座の力が臨めば世界福音化  ※ただキリストで刻印させなさい。 | | 237宣教は準備された人に与えられる。初代教会は弱いが準備ができていた。神様は彼らに世界を生かす答えを与えられた。  三位一体の神様-父と子と聖霊の御名でバプテスマを授けなさい。これを悟ってこそ、私の福音、祈り、伝道、職業がみな生かされる。これを祈りで味わうことができなければならない。  御座の力でこそ、237、世界を生かすことができる。40日神の国のことを説明した。  3時代を生かしなさい-すべての国の人々、すべての造られた者、地の果て  宇宙を治める力-天と地のすべての権威であなたとともにいる。  地の果てまで行くように力を与える。イエス様が地の果てという未来を語られた。ここには３つの庭が入っている。  これを礼拝のときに味わって、定刻祈りの時間だけ持ってもかまわない。これが刻印されれば24になる。他の人が見て悟る25の答えが来る。次世代に伝えられるほど、永遠なこととして残るようになる。この御名がすべての家族に与えられた御名だ。  □序論\_ 14節「膝」 - 237を置いてひざまずいて神様に祈ったパウロ  1.エペ2:1(原罪、自犯罪で死んだ私たちを生かされたのだ)  2.エペ2:2(以前に私たちが空中の権威を持つ支配者に付いて回った)  3.エペ6:12(支配、力、悪霊、暗闇の支配者に臨んで世界化)  4.時空超越(次世代に働き)  5.霊的問題が世界化されている暗闇との戦いが私たちの戦い  6.何年か後にイスラエルが滅亡して、福音を持っている次世代が全世界に散らされること  7.ローマのわざわいが世界のわざわいに変わることが起こる。  □本論\_出てくる答え  1.世界経綸(1-2節)-世界を動かす神様の意図  1)強大国を動かした経綸　2)奴隷、捕虜、属国に行ったこと  3)流浪の民に行くようになること  2.わざわいを止めるキリストの奥義(9節)  1)使9:1-10道を通り過ぎてキリストに会ったパウロ  2)使9:15イスラエルと異邦人と王の前に立てるための選びの器  3)使19:1-20監獄でティラノ運動が起きたエペソ教会に送った手紙  使19:21監獄に行った理由-ローマ、世界のわざわいを防ぐ道  △ただキリストその御名によって暗闇を防ぐことができる。  3.真の回復(6-9節)  1)相続人　2)器官　3)約束にあずかる者(6節)  4)キリストの豊かさがあなたがたにあるように祈り(8節)  5)永遠の奥義(9節)  □結論\_確認  1.内なる人-力をもって強めてくださるように(16節)  2.キリスト-根がおろされて、基礎が固まって(17節)  3.キリストによってあふれる知識-パウロ(18節、ピリ3:7-21すべてをちりあくたと考える) | |